

## ニーズの概要

新しいせん妄対策（患者にとってできるだけ尊厳ある抑制を）

## 現状の課題

せん妄対策としての みはる君（商品名）や まった君（商品名）では、ベッドサイド到着時にはアクシデントが生じており、患者さんの安全を守るためには不十分です。

EICUでは 患者への直接拘束を最小限にするべく、スタッフが24時間モニタリングをしています。そのため四肢や体幹の直接拘束は最小限にできていますが、夜間帯などスタッフ数が減る場合、どうしてもモニタリングできない時は、直接四肢に拘束をしています。拘束0をめざし、患者に寄り添う看護をめざしているのに、ジレンマを生じています。

## ニーズ

常設している画像モニターに、体動センサー機能を併設することで、患者さんへの直接拘束件数を減らすことができます。また、これがEICUで成功するならば、移動式モニタリングを使用して、一般病棟でも使用可能となります。患者への拘束は、患者だけでなく実施側スタッフの精神的負担を生じています。患者と看護師に優しい見守るシステムの構築が必要と考えます。